

川崎の社会福祉

あなたの「やってみたい!」を応援する広報誌



No.599

2023.1
WINTER



子どもから大人まで
幅広い世代への福祉教育
車いす体験の様子

このまちに住むすべての人のために

特集

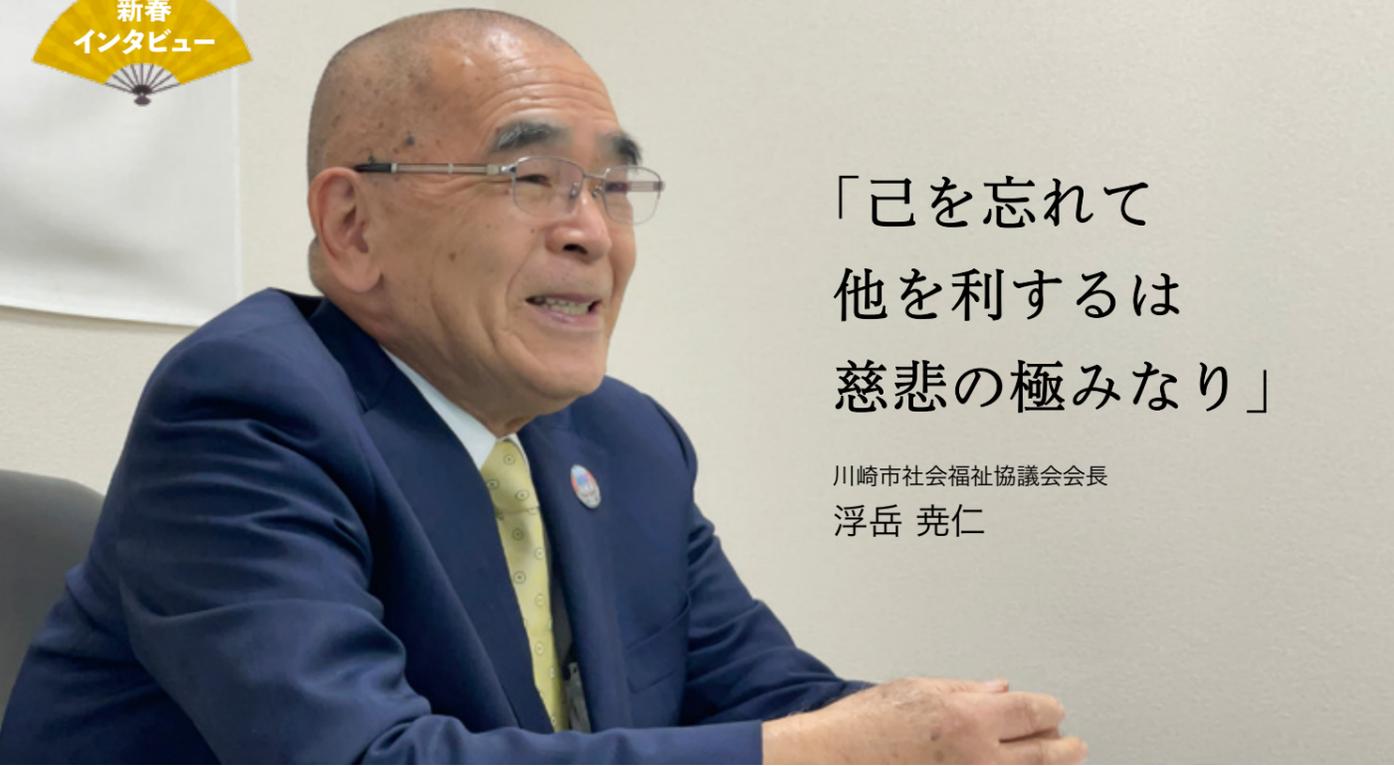
知る・感じる・つながる。
福祉教育でつくる地域デザイン

For a Smile



川崎市社協キャラクター
ななふく

 川崎市社会福祉協議会 (通称:川崎市社協)



「己を忘れて
他を利するは
慈悲の極みなり」

川崎市社会福祉協議会会長
浮岳 堯仁

2023年の年頭にあたり、川崎市社協・浮岳堯仁会長へのインタビューをお送りします。今年の意気込みや、コロナ禍での地域福祉推進に向けた想いを聞きました。

2022年を振り返って、どのような年でしたか？

コロナによる生活困窮者への支援事業・特例貸付を通して、これまで表面化しづらかった「市民の声」が、より鮮明に浮き彫りになったと感じます。私自身もさまざまな現場に出向き、困りごとを抱えた多くの住民の話に耳を傾けてきました。皆さんの切実な声は、地域福祉の最前線にいる社協だからこそ知りえた貴重なデータです。これらを広く発信し、行政をはじめ多くの方に福祉へ目を向けてもらわなければと痛感した1年でした。

そういった思いから、我々が実際に相談対応したケースを冊子『生活困窮のリアル(※1)』にまとめました。誰かの痛みや不自由を知ることは、相手の立場を思いやることや、自分にできるサポートは何かと考えるきっかけになります。ぜひ読んでみてください。

コロナ流行から4年目を迎える今年、社協には何が求められていると感じますか？

自粛生活が長引き、認知症患者の増加が予想されてい

ます。公的支援も必要ですが、高齢者自身にも、支えられるばかりでなく、自らの力で健康寿命を延ばそうという意識が求められるようになるでしょう。高齢者の生きがいにもなる社協の地域活動には、特に期待を寄せられていると感じます。

また、コロナ流行を機に、共同募金が集まらないなど社協も苦しい状況が続いています。けれど、すべてをコロナのせいにして諦めてはいけません。現場に足を運び、現場の声を届け、工夫を凝らしながら、地域のつながりづくりのために尽力していきたく思います。

2023年の抱負を聞かせてください。

己のことだけでなく、他者のために自分の力を分けてあげられる。福祉に携わる者として、そんな「利他の心」を持った人材を増やしていきたいですね。互いを支え合える地域を目指し、福祉教育に力を入れたいと思います。

今年は職員間の情報共有と連携をより深め、しっかりとした経営基盤の組織づくりをすすめてまいります。

(※1)
「生活困窮のリアル」
ダウンロードはこちらから



①NECレッドロケッツ試合会場での募金活動 ②同行援護従業者養成研修 ③お仕事相談の様子 ④高校生主催によるイベントの実施支援 ⑤子ども虐待防止オレンジリボンたすきりレー ⑥街頭募金ボランティアの激励

市民・団体による
地域福祉活動を表彰

令和4年10月25日(火)第58回川崎市社会福祉大会にて、社会福祉功労者表彰が行われました。長年にわたり、市内で地域活動に貢献された111名・22団体の皆さま、ご受賞おめでとうございます！当日はダニエル・カール氏による記念講演「人のつながり、ふるさとってすばらしい」を実施しました。



川崎市社会福祉功労者市長表彰 64名・8団体 (順不同、敬称略)

社会福祉関係者で社会福祉事業に特に功労のあった方が対象です。(民生委員児童委員10年以上、社会福祉施設長、社会福祉団体役員、保育士・介護職員生活指導員などのキャリアが15年以上、ボランティア貢献者など)



- | | | | |
|-------------------------|--------|-------------|-----------|
| 小野瀬 朋子 | 山本 良子 | 持田 進吾 | 落合 文雄 |
| 小島 喜芳 | 西迫 一郎 | 出口 賢一 | 城川 敦彦 |
| 吉野 和也 | 菅 貴子 | 稲澤 美恵子 | 小林 彰子 |
| 荒木 登紀子 | 関 浩 | 富居 啓之 | 上 順一郎 |
| 高木 聡仁 | 小山 俊子 | 森 誠 | 村本 和代 |
| 曾我部 小太郎 | 渋谷 美幸 | 真船 由香里 | 大野 勝 |
| 中川 麻理 | 黒木 敬子 | 中川 智香子 | 鈴木 辰徳 |
| 早野 恵美 | 宇津木 孝正 | 宮浦 理絵 | 鈴木 大亮 |
| 銭澤 広美 | 福田 晃子 | 山田 佳世子 | 中山 哲 |
| 平井 昭太郎 | 古川 夕貴 | 児玉 幸代 | 齋藤 朋子 |
| 高橋 勝幸 | 塚越 健史 | 石川 博章 | 石原 真美 |
| 田中 隆 | 小泉 恵 | 佐塚 真樹子 | 岡田 充弘 |
| 吉原 賢 | 峯岸 明 | 玉島 美奈子 | 藤田 和之 |
| 玉島 和裕 | 齋藤 栄美 | 野口 ゆみ | 森川 仁子 |
| 根本 幸枝 | 宮本 志野 | 田中 真由美 | 吉澤 友彬 |
| 道田 泰章 | 高倉 杏子 | 高橋 真由 | オカリナ・フレンズ |
| 幸の会 | ゆうゆう広場 | 新ミニディいちょうの樹 | |
| シニア読みきかせボランティアりぶりんとかわさき | | | |
| 藤・手工芸 ふきのとう | 山本 栄子 | 川崎市あゆみの会 | 京町いききクラブ |

川崎市社会福祉協議会 会長表彰 42名・6団体 (順不同、敬称略)

地区社会福祉協議会の活動に積極的に参加協力し、多年にわたり社会福祉事業に貢献した、功績顕著な方、ボランティア活動等で貢献した個人・団体、継続的に寄付活動をした個人・団体が対象です。



- | | | | |
|---------------------|-----------|------------------|-------------|
| 飯島 元和 | 高野 元雄 | 渡邊 良二 | 長島 康郎 |
| 水戸 民子 | 吉田 光悦 | 田澤 みずゝ | 柳川 光子 |
| 海野 恵美子 | 熊澤 幸恵 | 佐藤 博 | 加賀見 清子 |
| 寺村 昌子 | 小島 幾代 | 佐野 愛子 | 相川 智子 |
| 佐野 せつ子 | 佐藤 巳喜男 | 竹仲 密昭 | 内田 義一 |
| 勝越 徹 | 平子 瀧夫 | 友田 和一 | 改木 輝吉 |
| 原子 公秀 | 林 靖 | 石川 閣 | 中原 恵 |
| 石橋 千鶴 | 須崎 摩佐子 | 吉越 進平 | 酒井 百合子 |
| 矢幡 美栄子 | 市川 幸一 | 池上新町「見守り・つながりの輪」 | |
| つばき学習会 | よりあい処 みすぎ | よりあい処 美知 | ふれあいサロン・さつか |
| 青木 紀美子 | 安藤 純男 | 梅本 真理子 | 百瀬 昌之 |
| 吉垣 真美 | 黒沢 祐子 | 杉山 直也 | 松本 亜鐘 |
| 特定非営利活動法人studioFLAT | | | |

川崎市社会福祉協議会 会長感謝 5名・8団体 (順不同、敬称略)

社会福祉事業に多額の金品を寄付し、事業進展に寄与された個人・団体が対象です。



- | | |
|------------------|---------------------|
| 市川 和夫 | 一般社団法人川崎市弘済会 |
| 株式会社大塚商会 | 株式会社三菱UFJ銀行たまプラーザ支店 |
| JBCCホールディングス株式会社 | |
| 大和証券株式会社川崎支店 | |
| 川崎国際生田緑地ゴルフ場 | 有限会社天遊社 |
| 東芝プラントシステム株式会社 | |
| 川崎事業所産業システム事業部 | |
| 古徳 藤枝 | 手塚 勝也 他2名 |



知る・感じる・つながる 福祉教育でつくる地域デザイン

私たちの地域で、皆がしあわせに暮らしていくためには、何をしたらいいのか。ふだんの暮らしの中の生活課題を解決していくためには、どのようにすればいいのか。そのことを周囲の人たちと一緒に考え、実際に行動するための力を育む学びが「福祉教育」です。川崎市社協は、誰もが自分らしい生活を送ることができる「地域共生社会」を実現していくため、地域を基盤とし、さまざまな人々のつながりと協働のもと、福祉教育の推進・実践に取り組んでいます。



●福祉教育 3つのステップ・地域のゴール

STEP 1

だれかの
不自由さを

知る

STEP 2

目の前の
あなたの悩み・
苦しみに

共感

STEP 3

困っている
だれかのために

アクション!

地域の GOAL

他者への
理解・共感・実践が
あたりまえの
日常に

社会福祉協議会が福祉教育を行う意義

社会福祉協議会は、地域福祉推進の社会的な中核的機関として、生きづらさを抱えた当事者を含めた地域住民や関係機関と、地域福祉について真摯に協議し対話を積み重ねています。この地域福祉とは、地域での「ふつうの暮らしをつづけるしくみ」といえます。

これまでの福祉教育は、「ふだんの暮らしのしあわせ」を考え、高齢者、障害者を「疑似体験」することで、生活のしづらさに対する理解と共感を広げていきました。一方、川崎市社会福祉協議会では、これまでの取組を継承しつつ、地域での福祉教育へと歩みを進めています。こ

では、体験等を通して「誰かの生活のしづらさ」を入り口にしつつも、当事者との交流で「あなたの生きづらさと普段の暮らしの幸せ」に対する理解と共感を広げ、「自分の暮らしの中で、あなたやその先の誰かに対して何ができるのか」を考え実践する、それを「私たちの地域のありふれた日常」にしていくことまでを目指しています。

このような地域での福祉教育は、地域のありたい姿をも描くものです。そのため、川崎市社会福祉協議会が地域住民等と協議し対話を重ねてつくり上げてきた地域福祉が必要不可欠となります。



山梨県立大学
人間福祉学部福祉
コミュニティ学科
准教授
高木寛之氏

8月18日に開催した教員向け福祉教育研修(教職員22名参加)にて、高木氏に講師としてご協力いただきました。また川崎市社協・多摩区社協において、アドバイザーとしてご協力いただき、福祉教育の推進・実践に取り組んでいます。

地域に広がる福祉教育!

次世代を担う子どもたちに向けて

市内の学校(小・中・高)では、「総合的な学習(探究)の時間」が設けられています。子どもたちの多様性への理解を促したいと、この総合的な学習(探究)の時間の授業の中で福祉教育を行う学校が増加しています。



車椅子体験



高齢者疑似体験



ボッチャ大会の実施

多摩区社協では、学校・地区社協・民生委員・町内会・福祉施設・ボランティア団体・障がい者団体が連携し、福祉教育の普及・推進に向けたセミナー開催やハンドブック作成など、さまざまな活動を行っています。地域との繋がりを活かしコーディネートした講師を通じて、1年間で区内の9校・約1,000名の小学生が福祉について学びました。子どもたちのために、多くの当事者の方、地域の皆さんが力を貸してくれています。



教育に携わる人たちに向けて

「福祉教育を授業に取り入れてみたいけれど、どうやって教えればいいのか?」そんな疑問に答える形で、教職員向けの福祉教育研修を毎年開催しています。

「ともに生きる川崎」
福祉教育リーフレット



福祉教育
プログラムガイド



教職員の皆さんには、まず福祉について身近に感じてほしいと思っています。多くの方が「福祉=障がい・高齢」という固定されたイメージを持っていますが、この研修を通してその奥深さを知り、社協



研修に参加した教職員の声

- 「福祉」の考え方の幅が広がりました! クラスに合わせてアレンジし、授業に取り入れていきたいです。
- 当事者との対話・活動・交流を通して、理解ではなく相手の生活を知り、多様な生き方への理解につながる研修でした。

と連携するからこそ実現できる地域での福祉教育に魅力を感じてもらいたいです。研修では具体的な事例も紹介・提案しており、実際の授業に活かしやすいつとて好評なんです。



川崎市社協
岡職員

このまちに暮らすすべての人に向けて

企業の社員教育として

地域の誰もが利用する郵便局では、福祉の意識の向上が必要という思いから、社協の福祉教育を社員研修へ取り入れ、多様性について考えるきっかけをつくっています。



9月に実施したオンライン講座には30名以上が参加

地域ニーズの解決にも

市民や地域の施設に向けて、オンラインツール「Zoom」の使い方など、ICT支援の取組を実施しています。ICT支援の対象は、コロナによってつながりが途切れている市民・地域住民・施設など。NECプロボノ倶楽部の協力を得て、企業のもつ技術力を地域ニーズに役立てるこの活動も、福祉教育の一環なのです。



被災地 支援活動

地域共生社会の実現に向けた
社協の取り組み

地震や台風、豪雨被害…。毎年のように日本各地でさまざまな災害が起き、多くの方が住まいを失うなど大きな被害を受けています。災害が起きると、被災エリアの社協が「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」を立ち上げ、さまざまな支援活動を行うのをご存じですか？ 東日本大震災のような大規模災害時は、全国から社協職員が災害VCの応援へと駆けつけます。全国を網羅した被災地支援のネットワークが構築されているのです。



台風15号で記録的豪雨を観測

静岡県からレポート！

2022年9月23日に発生した台風15号の影響で、静岡県や愛知県では線状降水帯が発生。記録的な大雨となりました。特に静岡県では断水や浸水といった大きな被害が相次ぎ、12,900棟以上の住宅が被害を受け、現在も復旧作業は続いています。



川崎市社協も支援活動へ協力しました！

10月7日～11月20日 計11名派遣



被災地に派遣された地域推進課
小田職員



今回私が派遣されたのは、静岡市葵区の災害VCです。静岡市社協の職員とともに、ボランティアの派遣調整や被災住民へのニーズ調査を実施しました。現地ではクラウドサービスが導入されており、広範囲にわたる被災エリアとリアルタイムで情報共有が可能に。IT技術の発達で、効率的でスピード感のある被災地支援が行えるようになってきていることに驚きました。

Q 災害ボランティアに参加したい！まず、どうすればいい？

A 被災地の支援ニーズは、災害の種類や時期によって変化するため、災害ボランティアの活動内容もさまざま。一番大切なのは、**正確な情報を収集すること**。災害が発生したら、まずは被災地の状況を確認することが重要です。



災害直後は片付けや泥かきといったカ仕事を中心の時間が経つと、被災者のメンタルケア・サロン活動などコミュニティ再生が求められるんだ。



2020年の台風19号被災時には川崎市社協も災害VCを設置。各地から多くのボランティアさんが駆けつけてくれたよ！

川崎市社協や、ボランティア活動を推進している「全国社会福祉協議会」、現地の社会福祉協議会のホームページ・SNSで最新の情報をチェックしましょう！

川崎市社協災害情報

Facebook



Twitter



ふくしのINFORMATION

福祉に関するイベントやお役立ち情報をお届け

EVENT 来て見て触れて、体験しよう！

ミニ介護教室も開催♪



【共催】川崎市福祉サービス協議会 ふくし用具 展示・相談会

福祉機器（用具）の効果的な使い方や選び方、知っていますか？ 経験豊富な専門スタッフが、お身体やお住まいの状況に応じた、適切な福祉用具をご説明します。機器レンタル、購入相談なども。どなたでも、お気軽にお越しください！（※当日の販売は行いません）

- 日時：3月11日（土）10時～14時30分
- 会場：川崎市複合福祉センター
ふくふく2階（川崎区日進町5-1）
総合研修センター研修室・介護実習室
- 入退場自由：感染症対策のため、ご来所の際は体調確認、体温測定、マスク着用をお願いします
- お問い合わせ：総合研修センター（火～金 9:00～17:00）
TEL 044-223-6509

相談会

福祉用具取扱事業所・メーカー専門スタッフが、直接ご質問・お悩みに親身に対応します。最新機器の展示と相談ブース。ご使用の福祉用具について、住宅改修など、遠慮なくご相談ください。



（2019年11月 高津市民館にて）

お知らせ

福祉用具展示コーナー

ベッド、車椅子、リフト、入浴補助用具などを常設展示中！



（ふくふく2階 多目的室）

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちら
（ふくしの保険ホームページ）



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

ケガの補償	プラン		
	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
死亡保険金		1,040万円	
後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
入院保険金日額		6,500円	
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
通院保険金日額		4,000円	
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円（限度額）		
年間保険料	350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償

（傷害保険）

福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

（SJ21-10723より抜粋して作成）

地域福祉情報バンクのおすすめ図書



認知症700万人時代を迎える今、誰もが読むべき一冊

皆さんは、「認知症」という言葉にどのようなイメージをお持ちでしょうか？本書は認知症当事者である著者が、認知症を取り巻く社会の現状について、常日頃感じていることが綴られています。

「このようにサポートしてもらえると嬉しい」「困り事にはこんな工夫をしている」と、当事者目線で書かれる言葉には説得力があります。

認知症と診断されても、自分の人生をあきらめることなく笑顔で前向きな生活が送れる社会を作るにはどうしたらよいのか…。当事者の本当の気持ちを知って、彼らが本当に望んでいることは何かを改めて考えてみたいと思う、そんな一冊です。



「認知症の私から見える社会」
(講談社+α新書)
著：丹野智文



エポックなからは6階で貸出しています

地域福祉情報バンクへのお問合せ

TEL: 044-739-8720

MAIL: jyoho@csw-kawasaki.or.jp



蔵書検索は「ふくみみ」で!



急募!! ケアマネジャー・サービス提供責任者

市内7カ所の訪問介護支援事業所で働きませんか?

長い歴史と実績を持つ社協の事業所は働きやすさバツグン!

訪問介護員(ホームヘルパー)も募集中。お気軽にお問合せを♪(採用時期は要相談)

●問合せ:介護支援課 TEL 044-739-8712

勤務地や給与など、詳しくはこちらのHPをチェック!



採用担当者より



年齢や障がいの有無を問わず、誰もが安心して暮らし続けられる地域を実現するため、川崎の福祉を一緒に盛り上げていきましょう。ご応募お待ちしております!

寄付御礼 (令和4年9月1日~11月30日寄付受領分)

みなさんから集まった寄付金等は、地域福祉推進のための活動に使われます。

- 川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付 有限会社 グリーンフーズ あつみ 様
- 川崎市社会福祉協議会の福祉基金へのご寄付 市川 和夫 様
- その他市域へのご寄付 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会(地域福祉部 地域課) 様

協賛会員様のご紹介 (敬称略)

<p>セレサ川崎農業協同組合</p>	<p>川崎信用金庫</p>	<p>総合建設・不動産会社 ジェクト株式会社</p>	<p>株式会社川崎フロンターレ</p>
<p>株式会社ホテル精養軒</p>	<p>シティーリフトかわさき株式会社</p>	<p>デュプロ株式会社横浜支店</p>	<p>いづみ文具株式会社</p>
<p>居宅介護支援・訪問介護 デイサービス・福祉用具貸与販売・自費サービス事業 株式会社ジャパウィン</p>	<p>株式会社セレモニア</p>	<p>株式会社エコロジカルプレゼンツ</p>	<p>株式会社東横システム</p>
<p>理想科学工業 株式会社 神奈川営業所</p>	<p>訪問介護・障害福祉サービス</p>	<p>川崎市社協では、本会広報誌・ホームページへ掲載する広告を募集しています。</p> <p>詳しくはこちらをご覧ください</p>	

本会の活動にご賛同いただける企業・法人様を募集しています。いただいた会費は、地域福祉を支えるさまざまな活動資金として使われます。

●問合せ:庶務課 TEL044-739-8710

編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住所: 川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL: 044-739-8710 (代) FAX: 044-739-8737

E-MAIL: info@csw-kawasaki.or.jp HP: http://www.csw-kawasaki.or.jp/

広報紙「川崎の社会福祉」へ掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせください。

この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

